

# 原発再稼働の是非を問う県民投票制度を！

## 直接請求署名、全県で14万筆超える



10月28日から2か月間にわたって取り組まれてきた柏崎刈羽原発の再稼働の是非を問う県民投票条例の制定を求める署名、上越市では1万4738筆になりました。

7日の午前、「県民投票で決める会・上越」のメンバーがこれらの署名を上越市選挙管理委員会に仮提出しました。今回の署名数は2012年の直接請求の2.3倍になります。本提出は2月10日となります。

全県的には、署名は14万1000筆を超えたそうです。首長選挙の関係でまだ署名活動が終わっていない柏崎市などはまだ署名が伸びていきますので、最終的には15万筆を超える見通しです。

この署名を重く受け止め、知事には県民投票への積極的な意見表明をしてほしいし、県議会では今度こそ条例を可決してほしいものです。イラストは上越市での仮提出の様子です。

## コウノトリが今年も営巣するかどうか注目点の一つ

昨年、日本でコウノトリが営巣した最北の地として上越市吉川区が全国的に注目されました。

私は市議会一般質問で2度にわたり、コウノトリの観察体制の強化やコウノトリの郷、づくりなどを求めてきました。

今年は昨年に続いてコウノトリがこの上越市内で営巣し、ヒナたちを育てるかどうか注目されます。温かく見守りましょう。



【キク】キク科の植物。雪降るなかで目にとまった花。この家のキクは車庫の内側にあり、雪や雨をしのいでいるせいもあってか花は長持ちしています。それにしても白いキクの花は美しい。一般的にキクは秋に花を咲かせます。花言葉は「信頼」「高貴」「高潔」「高尚」など。写真は12月19日、大島区熊田にて撮りました。



昨年に続き、今年の1月もコウノトリを見かけました。場所は三和区越柳地内の田んぼです。個体番号はJ0446。2022年4月11日、福井県は小浜市生まれのメスです。

### 物価高騰対策などで申入れへ

「こんなに高い物価では暮していけない。低所得者などに一時金の支給を」「センター病院は今年度中に基本設計に着手すべきだ」「柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、エネルギー基本計画の見直しをしてください」……。

こうした市民の皆さんの願いを実現させるために、日本共産党上越地区委員会、日本共産党上越市議団は新年度予算・今年度緊急補正予算の編成について市長に要望書を提出することにしました。

要望書は今月15日に中川市長に直接会って提出する予定です。要望書の詳しい内容、提出時の様子は続報します。

# はしづめ法一の活動レポート

No.2187 2025.1.12

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第八三四回 認知症検査

何となく嫌な予感がしていたのです。六日の朝のことでした。「さあ、自動車学校へ行こう。その前に認知症検査のハガキを取りに行かなきゃ」と事務所に寄って、ハガキを手にしたら検査日は八日になっていたので。

そばにいた連れ合いが笑って私に言いました。「事前に予約が必要なんだよ。予約をしてくるかどうかは検査のうちだと思っよ」。ハガキをもう一度、見てみたら、わざわざ赤い文字で「早めに電話し、予約を確定してください」とありました。「忙しいのに、そんなことまで読んでいられるか」という思いもあったのですが、ハガキにウソは書いてありません。日時と場所くらいしか読まなかったでしょうね、落ち度は完全に私にありました。

それにしても一度見た検査実施日をスマホの予定表に間違って記載したのはなんでだろうと思いました。

検査日当日、この日は重たい雪が降って、路面が滑りやすくなっていました。家族の者から、「少し早めに出た方がいいんじゃない」と言われ、検査が行われる柿崎自動車学校に行きました。案内ハガキには受付時間は十一時一〇分からとなっていますが、十一時には着きました。

受付を済ませてから三〇分ほど近くの待合室にて待機し、その後、係の人の案内で「高齢者講習会場」という張り紙がしてある検査会場に入りました。

会場に入ってから分かったのですが、私と同じ時間帯の検査対象者は六人でした。そっと横顔を見ると、土尻出身のT子さんの姿がありました。T子さんは日頃から若いとは思っていましたが、私よりも七つか八つくらい年上のはずです。「おかしいなあ」と思いながら、隣の席を見ると、いつもお世話になっている原之町のYさんもおられました。どうやら、検査はこれから

後期高齢者になる人だけでなく、すでになっている人でも免許証更新で必要な人も一緒だったようです。

検査会場に入ってまもなく、担当の女性から、検査の案内がはじまりました。「何か絵を見てもらいます。絵を見て何だか聞きますので、声を出して覚えてください」と言われて、一枚当たり四つの絵が描いてあるパネルを四枚見せてもらいました。絵は全部で一六枚ということになります。一つひとつの絵を見て、みんなで声を出しましたので、これで名前はすべて覚えなくてはならぬ。

いよいよ検査本番です。裏返しになっていた答案用紙を引き寄せ、最初に名前と生年月日を記入しました。そして、用紙の一枚目をめくりました。第一問は、四枚のパネルに描かれた一六の絵の名前をすべて書き出してください、というものでした。

私の頭に浮かび出てきたのは、一枚目の左上の大砲です。続いて、竹の子、ラシオなど六つまでは出てきました。そこで、あれこれ考え始めたら、その後が続きます。これにはまいりましたね。

第二問。一六の絵を思い出させるために、それぞれのヒントが一つずつ書いてあり、その絵の名前を書きなさい、というものです。「野菜」「武器」「楽器」「体の一部」などのヒントが助けになって、十三ほど書き出すことができました。それでも出てこないものがいくつもありました。

第三問。検査日当日のことが問いです。いまは何年か、何月何日か、何曜日か、現在の時刻は、これらはすべて正解でした。

検査が終わって、案内ハガキを見た私が間違った日をスマホに記入した原因がよくわかりました。見事に「物忘れ」がはじまっていたのです。T子さん、Yさん、そして柿崎のKさんと顔を合わせましたが、皆さん、同じ思いだったのかも……。

## 2年ぶり新年祝賀会開催

上越市主催の新年祝賀会は6日、2年ぶりに開催されました。各界から2000人弱参加され、会場は混み合いました。オープニングは浦川原太鼓のみなさんです。合併後、新年祝賀会で演奏するのは2度目ということでしたが、今回も素晴らしい演奏でした。



年頭の挨拶で中川市長は、合併20年の話から始まって子育て支援、若者が定着するまちづくり、ふるさと納税などについて言及し、最後は「任期最後の総仕上げの年」として、喫緊の課題として地域医療再編や災害対策などに力を入れていくとのべました。「地域医療を守る」という言葉



ではなく、「地域医療再編」が喫緊の課題であるとしたのにはびっくりしました。上越の地域医療はいま重要な場面を迎えています。厚労省・県主導の再編ではなく、市民の願いに沿った形で対

策を進めてほしいものです。賀詞交換の時間帯、フルート奏者の高橋由美さんと仲野享子さんの「春よ来い」などの演奏を聴きながら会場を回りました。懐かしい人にも会いましたよ。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月25日(水)	1月8日(水)
上越消防署	0.053	0.053
上越南消防署	0.043	0.053
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.063	0.067
東頸消防署	0.040	0.050
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.050	0.057